令和８年度　学校経営基本方針

成田市立向台小学校

Ⅰ　経営の理念

○学校という日常の中で、子ども一人一人が挑戦と経験を重ねながら成長していく学校を創る。

Ⅱ　経営の基本方針

○本校は、一人一人の児童を大切にし、互いに認め合いながら共に学び育つ学校づくりを進める。

そのため、教職員の協働と、家庭・地域との連携のもと、児童の良さや可能性を伸ばす教育を推進する。

Ⅲ　学校経営目標

１　学校教育目標

「新しい時代を創造する　心豊かで　たくましい児童の育成」
～花いっぱい　歌声いっぱい　笑顔いっぱい～

花いっぱい：植物の花だけでなく、子ども一人一人が自身の花（夢・目標）を育て咲かせる。
歌声いっぱい：子どもたちの声、心（思いやり、助け合い、友だちの良さ）が響き合う。
笑顔いっぱい：物理的にも心理的にも居場所があり、子どもが生き生きと過ごしている。

２　めざす児童像

① よく考え、主体的に学ぶ子～学び合い、高め合う子～
② 思いやりと感謝の心をもつ子～心豊かで互いを大切にする子～
③ 心身ともに健やかな子～体力を高め、粘り強く取り組む子～

３　めざす学校像

○互いに認め合い、安心して学べる学校
○主体的に学び、高め合う学校
○一人一人が輝き、共に育つ学校

４　めざす教師像

○子どもの成長を喜び、**学びを創る**教師
　ア　学級経営力　イ　子ども達に対する深い愛情
　ウ　子どもがわかる授業ができる力　エ　指導に対しての責任感
　オ　学ぶ続ける向上心　　カ　常に自己改革意識を持つ
○**児童理解**に努め、最善を考える教師
　ア　豊かな人間性・社会性　イ　生徒指導力・教育相談力　ウ　調整力
○互いに**高め合い**、**信頼される**教師
　ア　社会に通じる常識・教養（服装・時間・礼儀）
　イ　コミュニケーション力　　ウ　思いやり・協調性　エ　学ぶ続ける向上心
　オ　常に自己改革意識を持つ　カ　法令遵守（コンプライアンス）キ　校務遂行力

Ⅳ　学校経営の重点と具体的方策

1　本年度の経営の重点

（1）学びづくり　（2）心づくり　（3）からだづくり　（4）子ども支援体制づくり
（5）安全・安心の学校づくり　（6）教職員の資質能力の向上
（7）家庭・地域とともに歩む学校づくり

2　具体的な方策

（1）学びづくり

○全学級で**基本的な学習規律が定着し**、**安心して学ぶことのできる環境を整える**。
※ユニバーサルデザインを導入するとともに、児童が見通しをもち学習できる環境を整える。
○ドリルタイム、家庭学習等の時間、及びドリルやタブレットを有効に活用し、**基礎・基本の定着を図る。**
※一人一人のつまずきを把握し、指導と評価の一体化を図る。
○効果的なタブレットの活用を通して、個別最適な学びと協働的な学びを進める。
○**言語活動を積極的に取り入れる**。発達段階に応じて、気づきや思考を言語化する、根拠をもって自分の考えを話したり、文章を書いたりする等の能動的な学びを通して、主体的、対話的で深い学びの実現を図る。※目的・手立てをもつ。
○**体験的活動、探究学習等、主体的な学びのプロセスを通して**、創造力や協調性を高める。
○学習課題を明確にし、見通しをもたせた授業づくり・授業改善を進めるとともに、自己決定の場を提供し、学習意欲を喚起させ、思考力・判断力の育成を図る。
○図書館司書と連携し、学校全体で児童の読書を推進する。

（2）心づくり

○**基本的な生活習慣を定着させ、学級全体、学校全体が落ち着いた環境**となるようにする。
○**合い言葉、目指す児童像から生活目標をつくり、年間を通して児童が意識して生活できるよう見通しをもたせる。**
○年間を通して**人権教育、道徳教育**を推進し、日常生活における行動につながるよう推進する。
○清掃・美化活動への積極的な取り組みを通して、公共の場を大切にする心や気づく力の向上、集団の中の役割における意識化を図る。
○**特別活動・体験活動を通して、自律的な姿勢や自己肯定感の向上、社会的なつながりの識と感謝の気持ちの育成を図る。**※結果だけでなく、それ以上に過程を評価する。
○縦割り班活動など異学年グループの活動を通して、リーダー性、思いやり、協調性の育成を図る。
○**合い言葉の達成に向け、児童が主体的に取り組むことができるよう学校全体で取り組む。**

（3）からだづくり

○**年間を通して、全校の児童が主体的に運動に親しみ、体力向上を図れるよう計画する。**
○スキルの向上だけでなく、発達段階に応じたからだづくりを強化するとともに、課題解決に取り組めるよう授業改善を図る。
○健康に対しての意識を高めることができるよう、発達段階に応じた保健指導、健康教育、食育を推進する。（養護教諭・栄養教諭・スクールカウンセラー・外部講師）

（４）子ども支援体制の充実

○アンケート、相談箱、日常的な声がけ等、児童が困ったことを相談しやすい体制を整える。

○合理的配慮と支援すべき児童の実態を把握し、個に応じた学びの手立て、学びの場の工夫ができるよう、保護者や関係機関と連携し個に応じた支援を提供する。

○担任、学校サポート教員、特別支援教育支援員、日本語指導担当、教育相談員、スクールカウンセラーと連携し、適切な支援が行えるよう必要に応じてケース会議を開き、チーム支援を行うとともに、個別の指導計画を作成し、PDCA サイクルで継続支援を行う。

○学校全体で、ユニバーサルデザインを意識した環境整備を行う。

（５）安全・安心の学校づくり

○安全点検の徹底と、物理的整備を行い、安全な教育環境を維持する。

○発達段階に応じた児童理解に努め、児童への発言、児童との距離に注意し、適切な指導・支援を行う。指導内容は明確にし、必用に応じて複数人で対応する（児童サイドにサポートの職員を入れる。）

○児童観察を行うとともに、学級ルールを明確にし、児童同士の関わりを意図・計画的に進め、児童が主体となり、役割や達成感をもたせるよう学級経営を行う。

○避難訓練により、児童が自分で判断して避難できるようにするとともに、防災・防犯教育を計画的に行う。

（６）教師の資質・能力の向上

○目的を明確にした計画的な校内研修と、各自のキャリアステージに合った学びの推進を図る。　※各自で自分の課題を追究する。

○10 年目以下の経験者に計画的な研修を推進する。

○日常的な業務が資質・能力の向上につながる。学級・分掌のことは一人で抱え込まず、相談して進められる体制を整える。

○職場環境の整備を行い、業務の効率化とチームでの対応を推進する。

○モラールアップ委員会を中心としたモラールアップと相談しやすい環境の整備

（７）家庭・地域とともに歩む学校づくり

○積極的な情報の発信を進め、開かれた学校づくりに努める。

○地域コーディネーターを中心とした、PTA、地域人材の積極的な活用と拡充と、地域施設等の活用による学校の活性化を図る。

○学校運営協議会や学校評価アンケート等を基に保護者・地域の声を学校運営の改善に生かす。

○危機管理に対して地域保護者と連携し、組織的に対応できるようにする。

成田市立向台小学校

令和8年度 グランドデザイン

～一人一人が輝き、共に育つ学校を目指して～

学校教育目標

「新しい時代を創造する
心豊かで
たくましい児童の育成」

予測困難な新しい時代を生き抜き、
自ら創造していくための、豊かな心とたくましさを
備えた子どもの育成を最上位の目標とします

合言葉

「花いっぱい 歌声いっぱい
笑顔いっぱい」

子ども一人一人の夢や目標（花）を咲かせ、
思いやりと助け合い（歌声）を響かせ、
誰もが居場所を感じられる（笑顔）
学校を象徴しています

めざす児童像

よく考え、主体的に学ぶ子

互いに学び合い、高め合いながら、
自ら進んで学習に取り組む
姿勢を育てます

思いやりと感謝の心をもつ子

心豊かに、自分も相手も
大切にしながら、感謝の気持ちを
忘れない心を育てます

心身ともに健やかな子

体力を高め、困難なことにも
粘り強く取り組む、
心と体の健康を育てます

学校経営の重点（7つの柱）

(1)学びづくり 確かな学力の育成

・学習規律と基本・基本の定着
・発達段階に応じた言語活動 ・
体験活動・探究学習の充実 ・
ICTの効果的な活用

(2)心づくり 豊かな心の育成

・基本的な生活習慣の定着 ・
道徳教育・人権教育の推進 ・
特別活動・体験活動の充実

(3)からだづくり 健やかな体の育成

・年間を通した体力の向上
・発達段階に応じた体づくり
・保健指導・食育の充実

(4)子ども支援体制づくり 個に応じた支援

・SOSを出しやすい環境づくり
・ユニバーサルデザインを意識した環境
・個に応じた学びの手立て、学びの場
・チーム支援体制づくり

(5)安全・安心の学校づくり：信頼される学校

・安全な環境の維持
・発達段階に応じた児童理解
・避難訓練
・防災・防犯教育

(6)教職員の育成資質能力の向上 学び続ける教師

・目的を明確にした校内研修とキャリアステージに合った学び
・チームとしての組織体制
・環境整備と業務の効率化

(7)家庭・地域とともに歩む学校づくり 開かれた学校

・積極的な情報発信
・地域コーディネーターを中心とした
PTA・地域人材との連携